

8月の予定

1	火	
2	水	リズム
3	木	運動
4	金	
5	土	
6	日	
7	月	
8	火	モンテッソーリ大会 特別保育
9	水	
10	木	
11	金	山の日
12	土	お盆特別保育
13	日	
14	月	お盆特別保育
15	火	お盆特別保育・お弁当の日
16	水	
17	木	
18	金	
19	土	
20	日	
21	月	
22	火	
23	水	リズム
24	木	音楽・運動
25	金	
26	土	
27	日	
28	月	YY
29	火	
30	水	リズム
31	木	音楽

9月の主な予定

1日(金) 引き取り訓練
9日(土) 大掃除
15日(金) 敬老会
お弁当の日
22日(金) 8・9月生誕会
29日(金) きららサロン

その他避難訓練・身体測定

今年は暑い日が続きます。関東の水がめは渇水しているとのこと。プール遊びが続けられるために少しは雨が降ってほしいのですが、豪雨や台風のニュースもありいろいろ心配です。熱中症にならないように水分補給は細目に行っていきたいと思います。お出掛けなどもたくさん予定していらっしゃると思いますが、体調管理にはくれぐれも気を付けて、楽しい夏を送りましょう。

きらら祭りでは晴天に恵まれ、少し暑すぎましたが無事に終わることが出来ました。今年は富岡などの地域のお祭り重なったこともあったのか、例年よりは少し空いているような気がしましたが、広さ的にはちょうど良かったのではないかと思います。保護者会役員の方には今年も4月から打ち合わせや準備をしていただき、また多数のボランティアの方にもご協力いただき園中笑顔であふれる楽しいお祭りを挙げる事が出来ました。最後の片付けまでしていただき職員一同感謝しています。卒園児もたくさん来て下さり懐かしかったです。

お泊り保育も無事に終わりました。お家を離れて一晩慣れているとはいえ保育園に泊まるのは自信になったのではないかと思います。

職員の研修参加・夏季休暇について

夏休みの予定表を各ご家庭から提出いただきありがとうございました。提出時点で未定だった休暇日が決まりましたらお知らせください。

8月は職員が研修やモンテッソーリ全国大会に参加し学んだり、順番に夏季休暇を取らせていただきます。お仕事のお休みの時や短時間勤務の時はご家庭でお過ごしください。一日保育士の日を担当保育士が不在の場合もありますので、気になる方は事前にお声掛け下さい。

敬老の日のお手紙について

締切りは8月21日(月)

敬老の日に向けて、おじいちゃま、おばあちゃまに園での子ども達の元気な様子をお知らせするメッセージカードをお出ししたいと思います。

写真は園で撮影します。幼児クラスのカードは子どもの手作りです。

夏の間カード作りを進めますので、ご希望の方は次のものを用意し期限を守って担任にお渡し下さい。締め切りを過ぎると受け付けられなくなりますのでご注意ください。また、子どもが作成するので、一人2通までとさせていただきます。

用意して頂くもの

- 封筒…サービス版の写真(8.9×12.7)とカードが入ります。
横 11.5 cm×16.5 cmサイズ 定型郵便の範囲内の物 定型外の封筒ですと、料金不足で戻ってきちゃう事がありますのでご注意ください。
- 封筒は家庭数分(2組の祖父母がいらっしゃる場合は2通)、ご夫婦は連名で1通。
- 封筒の表には送り先の住所、氏名をはっきり書き82円切手を貼って下さい。
- 封筒の裏…お子さんのクラス名と園児名を鉛筆書きしてください。

提出は事務室のポストに入れて下さい。

敬老の日の集いについては後日おたよりを出します。

引き取り訓練 9月1日(木) 16時 警戒宣言発令

9月1日は防災の日です。きらら保育園でも、16時に警戒宣言発令があったと想定して訓練を行います。16時に職場を出てお迎えに来て下さい。大切な訓練です。ご都合をつけ必ず訓練に参加できるようにしましょう。

8月25日(木)～29日(月)までにお迎えの時間と引き取りの方をお知らせください。緊急連絡票に写真記載のない方のお迎えの場合は、あらかじめ登録・写真提出をお願い致します。

また、万が一の時には、お子様をどなたが引き取り、どこに避難するのが安全か等、各ご家庭で色々な場合を想定して話し合ってみましょう。

モンテッソーリ教育で育った子どもたち

将棋界の新星、中学生棋士の藤井聡太四段。6月に、きらら保育園で育児講演をしてくださった先生から「あの方もモンテッソーリ教育を取り入れた幼稚園の出身だったそうですね」と教えていただきました。(6月終わりの29連勝後にはニュースやワイドショーなどでも「モンテッソーリ幼稚園出身!」と取り上げられていたので、ご存知の方も多いかもかもしれません)紙編みが大好きだったとのことで、親近感を覚えますね。

俄然モンテッソーリ教育が注目されたことで、「モンテッソーリってなに?もっと知りたい!」と思う方が周りでも増えたのではないのでしょうか。モンテッソーリの全国大会も締め切り前にいっぱいになってしまったそうです。一概に説明することは難しいですが、ここで少しお伝えします。

モンテッソーリ教育は、もちろん特別なメソッドはあるのですが(という語弊もありますが)いわゆるノウハウ教育法ではありません。「子どもをどうするか」ではなく、私たち大人が子どもを観察し、理解しどのように準備していけるか、心構えをしていくか、という考えの方が本質だと思っています。

ですから、モンテッソーリ教師は「教える人」というよりも、子どもを導く「案内人」に過ぎません。ですが、それがベストなのです。

モンテッソーリ教師になるためには、まず、子どもの精神や発達段階・傾向性等をじっくり学びます。そこで「子どもは自らを成長・発達させる力を持っている」ということを知るのです。子どものその力はどのようなものなのか、その力を私たち大人が邪魔するとどうなるか、どのように関われば邪魔にならないのか、その力を存分に発揮させるためにはどの時期にどのような関わりが望ましいのか、ということ深く勉強していきます。そして、現場に帰り、一人一人の子どもを観察し、一人一人に合った援助や環境を準備していくのです。これはとても難しく、私たちも日々、失敗したり、手ごたえを感じたりしながら保育をしています。

「藤井聡太・モンテッソーリ」を取り上げたワイドショーの出演者たちは口々に「子ども(孫)を藤井聡太さんのようにしたい!だからモンテッソーリ園に入れる!」とコメントしていましたが、保護者の方ご自身がモンテッソーリ教育を知り理解することが一番の近道だと思います。モンテッソーリ理論に基づく人的・物的環境はやはり素晴らしいと思いますので、長い時間を過ごす保育園や幼稚園がそうであることに越したことはありませんが、それと同じくらい、いやそれ以上、親や家庭の考え方・価値観による子どもへの影響は大きいのですから。是非、講演会において下さい。

余談ですが、私は親の「子どもにこうなってほしい」という考え方は少しは必要ですが、その前に子どもの「こうしたい」「ああなりたい」をどのように引き出し、それにどのように応えていこうか、考えを巡らすのが親の役割だと思っています。親の事情もありますが、子どもの事情もあるのです。それを知るためによく見ていたり、子どもが自分の本当の気持ちを言えるように聞いてあげたりする事が大切です。自分の事に興味を持って話をよく聞いてくれたという体験は子どもの自尊心を育てます。それは生きていくために何より大切な事です。期待をしてはいけなとまでは言いませんが、将来「あなたにはガッカリした」などとは絶対に言わないようにしましょう。親の失望的な発言・態度は、子どもは特に敏感です。傷つきますから……。

最後に、モンテッソーリ教育は「優秀な人を育てる教育法」でもないと思います。結果的に優秀と評価されることはあっても、本質はその子の力・個性・人格を力強く円満に伸ばしていくものだと思います。子ども一人一人の力・個性は本当に素晴らしいです。保育園という場所において、たくさんのお子様に会って実感します。ご自身の子の力を信じて、放任・干渉にならぬように、あるがままを受け入れて、愛してあげて下さい。微力ながら私たち職員も共に歩ませていただきます。